

健康

と、
ともに、
とよなか

TOYONAKA

認知症を疑似体験
してみよう！

VR認知症 体験イベント

開催日

9/6 土 7 日

参加無料・要申込み

本イベントは、認知症を「学ぶ」のではなく、
VR技術を使って認知症の中核症状を“1人称”で
「体験」するものです。

対象

13歳以上の豊中市民
豊中市内に通学・通勤されている方
※13歳未満の方は視覚等へ悪影響を及ぼ
す可能性があるため、参加はご遠慮いた
いております。
※17歳以下は保護者の同伴が必要です。

申込み

8/4（月）から下記電話にて受付
1. 希望日時 2. 名前（人数分）
3. 年齢（人数分）4. 電話番号
をお伝えください。
※1申し込みにつき4人まで

時間

1回目：10:30～12:00
2回目：13:00～14:30
3回目：15:00～16:30

会場

千里保健センター 健康教育室
千里文化センター「コラボ」2F
（豊中市新千里東町1-2-2）

持ち物

不要

定員

各回10人

参加費

無料

豊中市 健康医療部
健康推進課 健康支援係

☎ 06-6152-7381
平日9:00～17:00



体験コンテンツはこの3つ



しくかんしつにん
視空間失認

映像時間：2分

視覚から得た情報をうまく処理できない症状を体験
距離感がつかめなくなる症状を再現
認知症がある人の「問題行動」とされるものには理由があることに気づく



げんし
幻視

映像時間：5分

レビー小体型認知症という種類の認知症幻視（無いものがあるように見える）という症状の体験
レビー小体病当事者が完全監修



けんとうしきしょうがい
見当識障害

映像時間：5分

電車ですべて降りるか分からなくなる状況を体験
症状を見るだけでなく、その症状がある人の気持ちを想像する力につなげる

イベントフロー

VR体験



グループ
ディスカッション



解説

※上記を3つのコンテンツごとに実施（合計90分）

認知症の人が見ている世界
そこで起こる不安感や恐怖感を
VRでリアルに体験できた

体験した参加者の声

自身の想像と認知症の人が
感じていることにまだまだ溝があり
理解しきれないことが分かった

グループディスカッションで、
他の参加者の感じ方、受け取り方
を知ることができた



私の年齢から認知症を自分事として
捉えるのはとても難しいけど、
疑似体験をしたことでより身近に
認知症の症状を理解できた

身内に（認知症の人が）いるので
ディスカッションで参加者の人たちと
話し合えたことがとてもよかった

※令和6年実施時の参加者アンケートより

